



ガラパゴス諸島 画像データベース完成披露式を挙行

附属図書館では、6月12日「ガラパゴス諸島画像データベース」(<http://gallery.lib.nagasaki-u.ac.jp/galapagos/>)の完成披露式を行い、報道機関へ発表しました。

このデータベースは、伊藤秀三名誉教授が1964年以来約40年間16回にわたる現地調査で撮影した約1,300枚の写真画像からなるもので、キーワード検索や高精細画像の表示の他、3Dイメージによる地形の鳥瞰動画や、同一地点を長期間にわたつ

て撮影した定点観測画像などの多くの特徴をもっています。

ダーウィンが進化論の着想を得たことで知られるガラパゴス諸島は、最近では、世界的な異常気象の生物センサーとして注目されていますが、このデータベースには、すでに失われた景観も多数含まれており、植物生態学のみならず、地球環境問題を考えるうえでも、大変有益な資料として活用されることが期待されます。



左から伊藤名誉教授、齋藤学長、柴多附属図書館長



ガラパゴス諸島について説明する伊藤名誉教授

国立ソウル大学校と

学術交流協定を締結

7月16日、齋藤学長、下川功教授及び森望教授が国立ソウル大学校を訪問し、齋藤学長とLee学長が協定書に署名し、学術交流協定を締結しました。

両大学の交流は2000年から始まっており、今後は、基礎老化学、老年病学を主体とした研究、教育を活性化し、研究者、学生の交流、交換を盛んにすることにより、両大学の研究、教育の発展を図るとともに、更に両大学間の様々な分野での研究者交流

及び学生交流の推進が期待されます。



握手する齋藤学長(左)とLee学長

福建医科大学と学術交流協定を更新

7月23日、福建医科大学(中国)の陳学長が長崎大学を訪問し、2001年8月に大学間協定として締結した学術交流協定を更新するため、齋藤学長と陳学長が協定書に署名を行いました。

また、陳学長から本学小路武彦教授と門司和彦教授に

客員教授証書が、蔡 国喜研究支援員に特別連絡員証書が贈呈されました。

今後は、これまでの医学部医学科、熱帯医学研究所、歯学部との人的交流や共同研究に加え、医学部保健学科や薬学部、環境科学部との交流も期待されます。

防災・環境ネットワークシンポジウム2007・イン・ナガサキ

8月31日、九州地区国立大学連携事業として防災・環境ネットワークシンポジウム2007・イン・ナガサキを本学で開催しました。

このシンポジウムは、九州地区の「防災・環境」をテーマとして、研究者や行政関係者など約280名が参加し、午前中は各大学の研究者から九州地区における過去の各種災害と今後の課題について講演があり、午後からは文部科学省、国土交通省、関連企業及びNPOの専門家から行政、民間、NPOの防災・環境への取組みについて、それぞれ発表があり、パネルディスカッションでは、防災・環境ネットワークの今後の活動・取り組みについて活発な討論が行われました。

また、シンポジウムの最後に「防災・環境

ネットワーク長崎宣言」と題して、それぞれの大学の特徴を生かし地域性を考慮して、「九州は一つ」という理念のもと「連携」をキーワードに、(1)大学間の連携、(2)地域(住民、NPO等)との連携・地域への貢献、(3)行政との連携、(4)「あなご研究所」の設立の4項目について積極的な活動を推進するとの宣言を採択し終了しました。

その他、別会場では各大学・行政機関等のブースが設けられ防災対策の機材、パネル、資料等の展示があり、参加者は熱心に見入っていました。

また、会場の外では、長崎市消防局の協力を得て、地震体験車のデモンストラクションがあり、参加者の他に多くの学生・一般人も体験し、「防災の日」が翌日ということもあり、関心の高さが伺えました。



開会挨拶をする
菅沼宮崎大学理事



歓迎の挨拶をする
谷山長崎大学理事



熱心に聴講する参加者



開催趣旨説明を行う
有川九州大学理事



パネルディスカッション



講演を行う
文部科学省の渡邊室長



握手する齋藤学長(右)と陳学長

集美大学と学術交流協定を締結

8月9日、集美大学(中国)の辜建徳学長、曹敏傑教授の2名が長崎大学を訪問し、齋藤学長と辜学長が協定書に署名を行い、学術交流協定を締結しました。

1991年に始まった交流



両大学関係者との記念写真

は、その後共同研究を行うなど活発な研究者交流等を経て、現在は食品科学分野において共同研究を続けており、今後の両大学間の様々な分野での研究者や学生の交流が期待されます。



握手する齋藤学長(右)と辜学長



両大学関係者との記念写真